

新しい味探し!

青森のご当地グルメ&ラーメン



青森県は豊かな自然に恵まれ、新鮮でおいしい農林水産物が生産されていますが、素材が良いだけでなく、地域によって大きく異なる気候や文化、生活環境によって、各地でユニークな食文化が発達してきました。

そんな中で、地場産食材に徹底的にこだわったご当地グルメが誕生し、人気となっています。「深浦マグロステーキ丼」(深浦町)、「平内ホタテ活御膳」(平内町)、「中泊メバルの刺身と煮付け膳」(中泊町)、「田子ガーリックステーキごはん」(田子町)、「東通天然ヒラメ刺身重」(東通村)が地域の飲食店で提供され、平成29年10月には、この5つのご当地グルメの累計販売食数が30万食を突破しました。

一方、青森のラーメン文化もバラエティ豊か! 煮干しのだしをたっぷりさせたラーメン、あっさり風味の「八戸ラーメン」、しじみを入れた「しじみラーメン」、意外な組み合わせの「味噌カレー牛乳ラーメン」などなど。

平成28年家計調査(家計収支編・二人以上の世帯)の結果をみると、青森は中華麺購入数量・購入金額(1世帯当たり)がともに第1位となっており、ラーメン好きというもうなずけます。



イチ押し
三二あらかると

青森県は「B-1グランプリ」発祥の地。2012年の第7回B-1グランプリでは、八戸せんべい汁研究所がゴールドグランプリを獲得し、2014年の第9回B-1グランプリでは、十和田バラ焼きゼミナールがゴールドグランプリを獲得しました!

日本最長寿のソメイヨシノ



藩政時代、津軽氏の居城であった弘前城は、現在、**弘前公園**

として多くの市民や観光客に親しまれています。明治末期頃から市民による桜の寄贈が盛んになり、春には、ソメイヨシノを中心に**52種約2,600本の桜**が艶を競って咲き誇り、桜の名所となっています。弘前公園の中にある、**日本最長寿のソメイヨシノ**は**明治15年(1882年)植栽**で**樹齢136年**！昭和30年頃一度枯れそうになりましたが、桜の枝は剪定しないのが常識だった当時、りんごの管理技術を取り入れて積極的に剪定を行い、肥料を与えることによって蘇らせたそうです。

そのほかにも、**幹の周りが5m37cm**で、**日本一太いソメイヨシノ**をはじめ、**樹齢100年以上**

桜の本数が多い県内の公園

| | |
|------------------|--------|
| 弘前市弘前公園 | 2,600本 |
| 八戸市八戸公園こどもの国・植物園 | 2,000本 |
| 三戸町城山公園 | 1,600本 |
| 五所川原市芦野公園 | 1,500本 |
| 六戸町館野公園 | 1,500本 |
| 弘前市桜林公園 | 1,000本 |
| おいらせ町下田公園 | 800本 |

のソメイヨシノが400本以上もあり、見事な花を咲かせています。

弘前公園では、弘前城本丸の石垣を修理するため、平成27年に約3ヶ月にわたって約70m本丸の内側の現在地へ天守を曳屋しました。この期間中に弘前城(有料区域)を訪れた人は、**前年同期間の約2倍**！また、**お花見の時期は、岩木山と天守と桜を一度に見ることが**できる展望台からのスポットが好評となっています。**石垣修理が終わるまでの期間限定の景観**ですので、ぜひご覧ください！

メイド・イン・青森

—伝統のピカイチ・新しいピカイチ—



青森県には、豊かな自然と生活、文化の中で育つたすばらしい技術やものが、たくさんあります。しかし、そういった「伝統」をただ守っているだけではありません。

長い時の中で培われた技術を習得しつつ独自の工夫を加え、時には今までのやり方を変えてまったく新しい試みに挑戦し、困難を乗り越えて新たな分野を生み出したものがあります。

津軽塗



津軽塗は、弘前を中心とした津軽地方に伝わる堅くしっかりとした優美な外見を持つ塗物(漆器)で、始まりは江戸時代元禄年間までさかのぼる。唐塗、七々子塗、紋紗塗、錦塗という4種類の技法があり、ヒバの素地から塗り、研ぎ、磨きを繰り返し、約50もの工程を経て完成する。青森県で唯一国の伝統的工芸品に指定されている。伝統を保ちながらもアクセサリ、インテリア、事務用品などの斬新な作品を次々と誕生させ、ヨーロッパでも高く評価されている。平成29年10月2日に重要無形文化財の指定を受けた。重要無形文化財の指定は本県初であり、漆芸分野での指定は人間国宝を除くと、輪島塗(石川県)に次いで2例目となる。



BUNACO(ブナコ)

BUNACOは、日本一の蓄積量を誇る青森県のブナ材をテープ状に加工し、バームクーヘンのように巻き重ねて形を作る工芸品。美しい立体曲線を自在に表現できるだけでなく、木の優しさとお美しさを兼ね備えており、木材使用も通常の10分の1程度で、地球にも優しい。国内の高級ホテルなどでも使用され、海外での人気も高く、BUNACOのお盆と茶托を茶器と組み合わせた「Yauatcha Tea Set」はイギリスで賞を獲得し、ヴィクトリア・アルバート博物館に永久収蔵されている。

下北ワイン

むつ市川内地区にある本州最北のワイナリー。日本での栽培は難しいとされるブドウ品種「ピノ・ノワール」を1ワイナリーとして国内最大規模で栽培している。国産ワイン最大級の審査会「日本ワインコンクール2016」では、「下北ワイン Ryo Classic」が、同品種を使用したワインとしては初の金賞受賞という快挙を達成した。

また、アジア最大のワイン審査会「ジャパン・ワイン・チャレンジ2014」でも、「下北ワインKanon」が金賞を受賞し、今では、高品質ワインとして広く認知されている。



青森県の縄文

縄文時代は今から約1万5千年前に始まり、日本で本格的な稲作が始まる弥生時代の開始まで、1万年以上もの間つづきました。

青森県は、県内各地に**3千を超える**縄文時代の遺跡が存在し、そのうち**9遺跡**が**国指定特別史跡**や**史跡**となっているなど、極めて文化価値の高い地域なのです。

中でも平成12年に国の特別史跡に指定された青森市の「**三内丸山遺跡**」は、大型掘立柱建物跡や数多くの土器や土偶、装飾品が出土し、縄文人の驚くほど豊かな暮らしぶりや精神性を示すなど、従来の縄文時代のイメージをことごとく覆しました。

イチ押し
ミニあらかると

大きい！

- ◆面積42ha、日本最大級の縄文集落跡！
- ◆高さ32cmの板状土偶は国内最大級！
- ◆長さ32m、幅10mの大型竪穴建物跡！

ハイテク！

- ◆竪穴建物跡や大人・子どもの墓、道路跡など、**施設配置に計画性があり、1,500年以上にも及ぶ長期間の定住生活を送った！**
- ◆大型掘立柱建物の6本の柱穴の**直径・深さは2メートル、間隔は全て4.2メートルで、中には、直径1メートルのクリの木柱が！**
- ◆ヒョウタンやゴボウなどの**栽培植物の種子が出土し、DNA分析によりクリの栽培も明らかに！**
- ◆**赤漆塗りの木製皿や赤色顔料**が出土、高い漆の技術を持っていた！



遠くから！

- ◆新潟県糸魚川市周辺のヒスイや長野県産の黒曜石、岩手県産のコハクなどが数多く出土。数百キロも離れた地域の人々と交流していた！

—世界遺産登録を目指して—



北海道から北東北は、全国に約9万か所以上ある縄文遺跡のうち約2割が分布する、まさに「**縄文遺跡の宝庫**」です。また、1万年以上も続いた縄文時代の各時期の文化を今に伝えるものとして学術的に重要なだけでなく、日本という枠を超え、世界の宝として残すべき貴重な文化遺産と言えます。

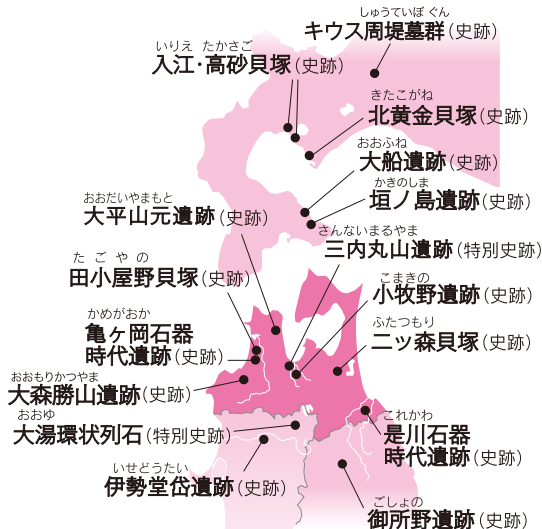
この貴重な宝を未来に残すため、青森県は、北海道、岩手県、秋田県と協力し、青森県の8遺跡を含む17遺跡で構成する「**北海道・北東北の縄文遺跡群**」の世界遺産登録を目指し取り組んでいます。

自然に感謝し、自然と共生するという縄文の暮らしには、現代に生きる私たちが学ぶべきことがたくさんあります。縄文文化のすばらしさを今に伝える北海道・北東北の縄文遺跡群を、私たちの手で守り、未来へ繋いでいきましょう！

「縄文遺跡群ロゴマーク」



「北海道・北東北の縄文遺跡群」



資料：県世界文化遺産登録推進室

青森の自然と祭りを楽しもう!



世界でも日本は四季の変化に富んだ国と言われます。その中でも青森県は季節の移り変わりがはっきりしており、四季折々の自然の美しさが私たちの目を楽しませてくれます。

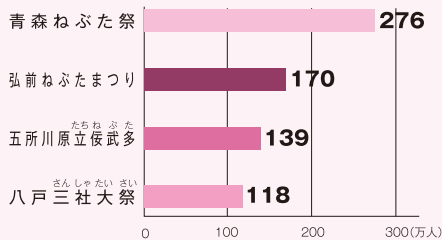
春

弘前公園の空を埋めつくす満開の桜は**2,600本**。ゴールデンウィークの頃に満開を迎え、弘前さくらまつり期間中には全国から約**236万人**(平成28年)もの人が訪れます。

夏

山が力強い緑であふれる頃、県内各地は**夏祭り**の時期を迎え、躍動感が街を圧倒します。夏を彩る「青森ねぶた祭」、「弘前ねぶたまつり」、「五所川原立佞武多」、「八戸三社大祭」には、**703万人**(平成28年)が訪れ、熱気は最高潮となります。

主要な夏まつり(8月上旬)



※五所川原立佞武多は五所川原花火大会の入込客数を含む。

資料:平成28年青森県観光入込客統計(県観光企画課)

五所川原立佞武多

青森ねぶた祭

弘前ねぶたまつり

秋

彩り豊かな紅葉が山や溪流を飾ります。中でも東北で最初に紅葉が始まる八甲田から十和田湖にかけての景色は格別。ブナ・ナラ・タケカンバなど色の種類も豊富で、**14.2kmに渡る奥入瀬溪流、紅葉・黄葉に覆われる十和田湖**(61.02km²、うち青森県分36.61km²)は息を飲む美しさです。

冬

幻想的な雪景色で癒されたり、その中でスキー、スノーボード、スケート、カーリングといった冬ならではのスポーツを楽しんだりします。また、地吹雪ツアーという雪国ならではのイベントまであります。

平成28年9月9日
下北ジオパーク(※)が
日本ジオパークに
認定！

八戸三社大祭

平成28年12月1日
ユネスコ無形文化遺産
に登録！

雪日数 (県庁所在地 H27年)

| 都道府県 | 日 |
|-------|-----|
| 1 北海道 | 108 |
| 2 青森県 | 102 |
| 3 岩手県 | 96 |
| 4 秋田県 | 94 |
| 5 山形県 | 89 |

最深積雪 (県庁所在地 H27年)

| 都道府県 | cm |
|-----------|-----|
| 1 青森県 | 123 |
| 2 北海道 | 91 |
| 3 福井県 | 56 |
| 4 山形県・富山県 | 52 |
| 5 長野県 | 40 |

資料：気象庁「過去の気象データ」

冬季閉鎖されている、八甲田・十和田ゴールドラインの酸ヶ湯～谷地間約8kmでは、4月の一般開通の前に、除雪が終わった道路を歩くイベント、「八甲田ウォーク」が開催されます。道路脇に高く積みあがった雪の回廊は、高さ最高9メートルにも及び、八甲田の雄大な自然を体感できるイベントとして、人気です。



※ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」+「公園(パーク:Park)」=「大地の公園」の意味。
貴重な地形や地質などを含む大地と、その上に成り立つ生態系や人々の暮らし、歴史や文化の保護活動を行い、教育や観光活動に活かすことで、その地域の魅力をより多くの人に知ってもらうことができます。

世界一のブナ林・白神



しらかみさんち

白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部にまたがる約13万haに及ぶ広大な山岳地帯の総称です。白神山地の森には多種多様な動植物が分布する極めて貴重な生態系を維持していることから、**1993年(平成5年)**

12月に日本初の世界遺産(自然遺産)として登録されました。日本国

内での自然遺産は**白神山地、屋久島、知床、小笠原諸島の4件**だけです。

この**世界最大級の原始的なブナ林**には、アオモリマンテマヤツ

ガルミセバヤなどの**500種を超える植物**が自生し、ツキノワグマやニホンザル、イヌワシなど多くの動物たちが生息する貴重な生態系が保たれています。ブナ林は、動物たちのエサになる植物が多くあるほか、水を蓄える力がとても大きいこと、大地に張りめぐらされた根が豪雨等による地表浸食を防ぐ機能があることも高く評価されています。

また、白神山地には、**推定樹齢400年、幹周り465cm**の巨木も確認されており、「**マザーツリー**」と呼ばれ、白神山地のシンボリック的存在となっています。

青森県には、**守り伝えていきたい豊かな自然がいっぱい**です！

| | 世界遺産登録面積 | 比率 | 東京ドームに換算すると |
|-----------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 全体 | 16,971ha | 100.0% | 3629.8個分 |
| 青森県側(約4分の3を占める) | 12,627ha | 74.4% | 2700.7個分 |
| 鱒ヶ沢町 | 4,650ha | 27.4% | 994.3個分 |
| 深浦町 | 4,119ha | 24.3% | 881.2個分 |
| 西目屋村 | 3,858ha | 22.7% | 825.2個分 |
| 秋田県側(藤里町) | 4,344ha | 25.6% | 929.1個分 |



※写真：クマガエラ (東北森林管理局提供)

資料：県自然保護課、ユネスコ世界遺産センターHP、文化庁HP、林野庁HP、全国巨樹・巨木会の会HP

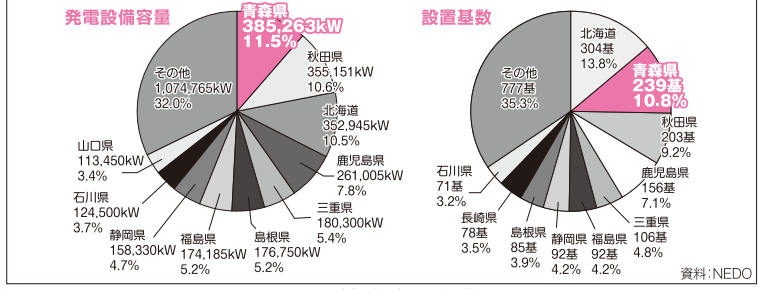


自然からの贈り物 再生可能エネルギー



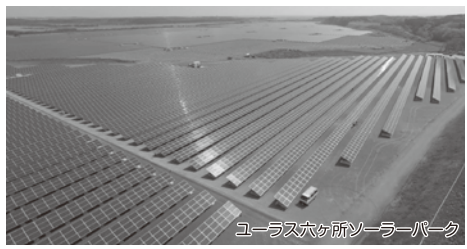
再生可能エネルギーとは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出せず、持続的に利用できるエネルギーです。青森県は、豊かな自然環境に恵まれており、特に、風力発電は全国有数の適地で、平成29年3月末現在、風力発電の設備容量が385,263キロワットで全国第1位、設置数が239基で全国第2位となっています。

風力発電導入量ランキング (平成29年3月末現在)



また、県内には世界初のNAS蓄電池併設型のウィンドファームがあるほか、平成27年10月には国内最大級の大規模太陽光発電施設(メガソーラー・115,000キロワット)が稼働しました。さらに、地中熱や温泉熱を利用した住宅・施設等での冷暖房や融雪など、地域の特性に応じた様々な再生可能エネルギーの活用が図られています。

本県での再生可能エネルギーの導入推進により、脱化石燃料と二酸化炭素の排出量削減につながり、持続可能な低炭素社会の実現に大きく貢献していくことが期待されます。



新むつ小川原株式会社 提供



エコ・パワー株式会社 提供

北海道新幹線の東京・新函館北斗間が最速3時間台へ!

しんかんせん

新幹線のピカイチ、集めました!!



新幹線の青函トンネル内の走行速度は、貨物列車との共用走行により時速140kmに制限されていましたが、平成30年度末、時速160kmに速度向上します!これにより、最速の到着時間は東京・新函館北斗間で3時間台に、新青森・新函館北斗間では1時間を切

ることになります!というわけで、新幹線に関するピカイチを紹介しましょう!

最高速度320km/h!

日本一の高速新幹線車両(E5系・H5系)「はやぶさ」

東京～新青森間の最速達列車は平成25年3月から2時間59分! JR東日本の車両E5系「はやぶさ」は、国内新幹線初となるファーストクラス座席「グランクラス」が導入されたことでも話題になりました。

また、JR北海道の車両H5系「はやぶさ」は、E5系とほぼ同じですが、車体中央にある帯の色や内装の一部などが異なります。



延長713.7km!日本一の長い路線!「東京～新青森間」

東北新幹線全線開業後は、東京～新青森間の営業キロが713.7kmとなり、在来線も含めた中で、日本最長の路線! これまでの山陰本線(営業キロ673.8km)に代わり、日本一となりました。

全長26.455km!世界一の複線陸上鉄道トンネル「八甲田トンネル」

「八甲田トンネル」は全長26.455km、上下線が通る複線トンネルでは世界一長い陸上鉄道トンネルです。青森県の中央部にある八甲田山系の北端に位置し、八戸駅から新青森駅までの距離(81.8km)の約3分の1を占めます。



橋脚間隔150m!

日本一広い橋脚間隔の新幹線鉄道橋「三内丸山架道橋」

三内丸山遺跡に近い国道7号青森環状道路をまたぐ「三内丸山架道橋」は、橋長450mのエクストラロード橋。橋桁を支える橋脚と橋脚の間隔は最大で150mもあり、新幹線の鉄道橋で日本一広い間隔です。



全長53.85km!海面下240m!

世界一の長大海底鉄道トンネル「青函トンネル」

津軽海峡の海面下240mの海底で北海道と結ばれる「青函トンネル」は、全長53.85kmで世界一長くて深い海底鉄道トンネルです。

当時の日本の最新技術を駆使し、昭和63年(1988年)3月に開通!その技術が、英仏海峡トンネル(全長50.49km)でも活用されました。

なお、平成28年6月1日に世界一長い単線陸上鉄道トンネルである「ゴッダルドペーストンネル」(全長57.1km:東トンネル)が開通したため、鉄道トンネル全体では世界第2位の長さとなりました。

イチ押し
ニ二あらかると

第3セクター鉄道「青い森鉄道」も ピカイチがいっぱい!

東北新幹線全線開業に伴い、並行在来線としてJR東日本から経営分離され誕生した「青い森鉄道」は、目時・青森間121.9kmを上下分離方式*で運営する日本一長い第3セクター鉄道です。

また、上北町～乙供駅間にある「天間川橋りょう」はなんと世界で初めて「3径間連続アーチ橋」で建設された鉄道橋です。

いろいろなピカイチのある青い森鉄道に、みなさん、是非ご乗車ください。

*青い森鉄道では、県が線路や駅舎等の施設(「下」の部分)を、第3セクター鉄道会社が電車(「上」の部分)を所有し運営する上下分離方式を第3セクター鉄道としては日本で初めて採用しました。

オンリーワンで行こう！

青森県には、アイデアを原動力に、新しい技術を全国・海外へ発信し続ける元気な企業や団体がたくさんあります。共通するのは、「創意工夫で他社との差別化を図る」、つまり、オンリーワンで行こう！ということ。

信頼性の高い検査／計測技術は世界トップレベル！ 株式会社日本マイクロニクス(平川市)

現代社会を便利に、豊かに、そして楽しくするエレクトロニクスデバイスの検査装置「プローブカード」を開発。そのシェアは世界トップクラスを誇る！ナノの領域へ微細化が進む半導体や、モバイル端末から車載、医療分野まで用途が拡大するフラットパネルディスプレイなどの品質や性能、そして信頼性の向上を支えている。

世界初！食品カロリー自動測定装置 株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック(平川市)

光を使った分析法の1つである近赤外線分光法を利用し、わずか数分でカロリー等の栄養成分の測定が可能！原材料をはじめ調理食品や飲料などの栄養を測定することに成功したことで、食品業界へ普及している。世界各国の特許を取得し海外展開も始めている。

世界トップレベル！産業用固定抵抗器 ニッコーム株式会社(三沢市)

世界トップレベルの精度を誇る産業用固定抵抗器を開発。電力エネルギー機器、列車運行制御機器、無線通信機器などからハイブリッド自動車や電気自動車にまで使われている。世界の電気エネルギー利用効率を飛躍的に高め、またクリーンな電磁環境を作ることに役立っており、世界の社会インフラを支えている。

世界シェア9割！角度センサー 多摩川精機株式会社(八戸市、三沢市及び南部町)

ハイブリッドカー(HV)や電気自動車(EV)の心臓部である駆動用モーターに搭載する「角度センサー」を世界で最初に開発し、現在走っている世界のエコカーの90%に搭載されている。同社の製品抜きではエコカーが作れない！

元気な企業たち



世界初！光学素子「クロビット」 株式会社テクニカル(弘前市)

産業技術総合研究所との共同研究で世界最高クラスの平面加工技術を
実現。同社が発明した「クロビット」は、高精度のプリズムを組み合わせる
ことにより、コインの表裏やサイコロの6面を一度に見ることを可能にし
た。日本、アメリカ、ヨーロッパで特許取得。

プロが絶賛！「音と電源の専門家集団」 株式会社光城精工(平川市)

オーディオ機器の音質向上に重要な役割を果たすクリーン電源の出荷
実績は国内トップクラス！レコーディングスタジオ、劇場などから高く評
価されている。

世界トップレベルの電着画像技術！ テフコ青森株式会社(弘前市)

0.03ミリ～0.15ミリの薄い金属製特殊シールを作り出すという世界が
認めるこの技術は、国際特許も取得。世界で生産される高級腕時計の文字盤
をはじめ、テレビ、パソコン、自動車のブランドロゴマークなどにも使われて
いる。

小型光センサー糖度計のバイオニア(先駆け) 東和電機工業株式会社(藤崎町)

樹木に実ったままのりんごの甘さも測定できる「非破壊・ハンディタイ
プ」の光センサー糖度計を世界に先駆けて製品化！さらに、八戸の前沖サ
バのうまさ(脂質)を光で低コストに測定する技術に挑戦！ハンディタイ
プの光センサー糖度計のシェア日本一！

資料：全国のモノ作り中小企業300社(経済産業省)、
東北の「光り輝く」企業たち(財団法人東北産業活性化センター)、
県商工政策課、県地域産業課、県産業立地推進課、県新産業創造課

おん せん 温泉いっぱい ん~幸せ!



環境省の温泉利用状況報告(平成28年3月末日現在)によると、青森県は温泉地数が全国第4位、湧出量も全国第4位の温泉の宝庫!

| 温泉地数 (か所) | 湧出量 (ℓ/分) |
|-------------------|-----------------------|
| 1位 北海道 245 | 1位 大分県 279,462 |
| 2位 長野県 224 | 2位 北海道 235,346 |
| 3位 新潟県 153 | 3位 鹿児島県 156,324 |
| 4位 青森県 133 | 4位 青森県 136,404 |
| 5位 福島県 132 | 5位 熊本県 134,447 |



市街地でも温泉が湧き出すので、近所の銭湯にも温泉銭湯が多くあります。

青森県の一般公衆浴場数は**321ヶ所**(平成26年度)で、全国第4位!人口10万人当たりでは**24.3ヶ所**(平成26年度)でダントツの**全国第1位!**なんと**全国平均の7.1倍**です。(※ピカイチデータ100!もご覧ください。)

平成28年家計調査(家計収支編・二人以上の世帯)によると、青森の「温泉・銭湯入浴料購入金額」(1世帯当たり)は全国第7位。いつでも温泉や銭湯に入れるよう車に入浴セットを常備している人も珍しくありません。青森県民は、温泉や銭湯が本当に好きなんです。

イ子押し
三二あらかると

◆国民保養温泉地指定第1号 酸ヶ湯温泉(青森市)

300年ほど前、江戸時代から開かれていた山の温泉宿。湯治客も多い。名物は80坪の総ヒバ造り大浴場「千人風呂」。昭和29年には国民保養温泉地第1号に指定!これは、数ある温泉地のうち、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な温泉地として優れた条件を備えている地域を環境省が指定しているものです。

資料:温泉利用状況報告(環境省)、環境省自然環境局HP、衛生行政報告例(厚生労働省)統計でみる都道府県のすがた(総務省)、「青森県の温泉」HP(県自然保護課)、アプティネット「温泉」HP(県誘客交流課)

青森空港除雪隊 「ホワイトインパルス」



青森空港は本州最北端の豪雪地帯に位置し、年間の累計降雪量が10mを超えることもある空港です。航空機用の冬タイヤはないので、冬期間の離発着のためには、滑走路などの雪や氷を取りのぞくことが必要です。

除雪を行い、青森空港の冬の安全運航を支えているのが、青森空港除雪隊ホワイトインパルスです。

滑走路を除雪する場合、スノーブラウ、スノースーパー、ブラウ付きスーパーが、斜め一列に隊列を組んで除雪します。

青森空港の滑走路は3,000m、除雪面積は約55万㎡！東京ドーム約12個分の面積を、約40分で除雪する計算になります。



スノーブラウ



スノースーパー



ブラウ付スーパー

ただいま急上昇中！これから期待のピカイチ！！

増加中！青森空港の外国人入国者数



青森空港から入国する外国人数が伸びています！！

平成28年は15,710人と4年連続の1万人超えとなりました。東北の中では仙台空港に次いで2位、北東北の中ではダントツの1位となっています。

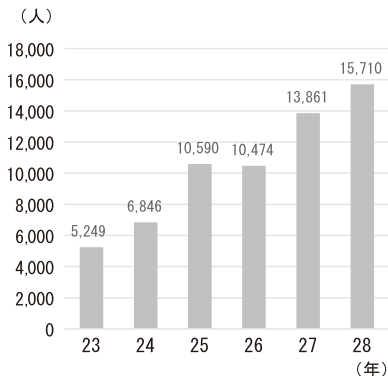
国・地域別にみると、定期便の青森－ソウル線が就航している韓国が10,653人と最多で、次に台湾の3,272人が続きます。平成29年5月には青森－天津(中国)間の定期便が就航し、同年10月には青森－ソウル線が増便となったことから、今後さらに多くの外国人が訪れることが期待されます。

青森空港は国際チャーター便の発着数も増加しており、世界に開かれた青森県の空の玄関としての役割が高まっています。



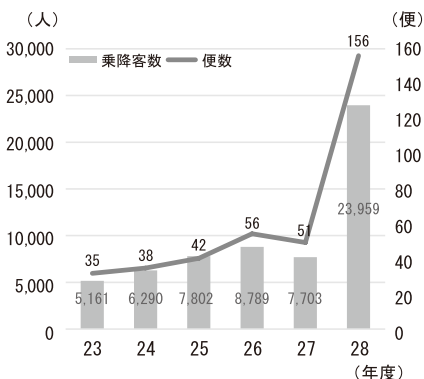
大韓航空 青森－ソウル線

青森空港 外国人入国者数



資料：法務省「出入国管理統計」

青森空港 国際チャーター便運航実績



資料：交通政策課

じょうしょう
ただいま急上昇中！これから期待のピカイチ！！

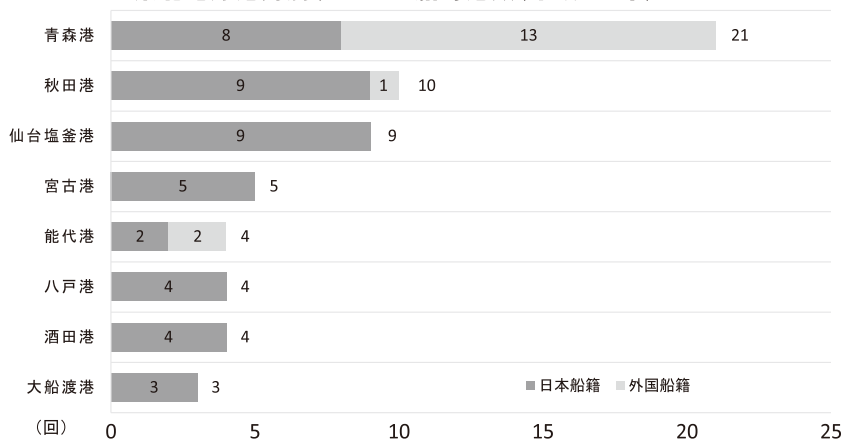
ぞう か ちゅう ま ころう
増加中！青森港へのクルーズ客船寄港



きころう ま ころう
青森港に寄港するクルーズ客船の数が年々増加中！

か ころう ま ころう
平成28年は過去最多だった前年と同じ21隻が寄港し、全国20位、東北の中ではダントツの1位となっています。日本船籍よりも外国船籍のクルーズ船の入港が多く、海外観光客の増加や地場産品の知名度アップなどが期待されます。また、2019年5月には世界的に有名な豪華客船「クイーン・エリザベス」が青森港に初入港する予定です。

東北地方港湾別クルーズ船寄港数(平成28年)



ダイヤモンド・プリンセス号の雄姿！

資料：港湾空港課